

弘前大学学報



弘前大学学位記授与式

第 120 号
平成26年3月号

学内ニュース

○平成25年度学位記授与式	-----	1
○平成25年度学位記授与式告辞	弘前大学長 佐藤 敬	----- 2
○平成25年度大学院学位記授与式告辞	弘前大学長 佐藤 敬	----- 4
○平成25年度弘前大学学生表彰を実施	-----	6
○東日本大震災からの地域振興を考える ー弘前大学ボランティアセンター活動報告会・研究報告会ー開催	-----	7
○「弘前大学高大連携公開講座修了証書授与式」を実施	-----	8
○文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業 地域再生人材創出拠点の形成 「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」平成25年度修了式	-----	9
○米国ウッズホール海洋研究所 ケン・ブエッセラー博士 特別講演会を開催	-----	10
○平成25年度弘前大学と弘前市との連携調査研究委託モデル事業 研究成果発表会を開催	-----	11
○弘前大学永年勤続者表彰 ～永年の功績を称える～	-----	12
○「ライフイノベーションアワード2013 (AOMORI)」 グランプリ (大賞) 受賞	-----	13
○学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム 平成25年度弘前市長と加盟代学長との懇談会開催	-----	14
○北日本新エネルギー研究所とむつ市との間で 連携・協力に関する協定を締結	-----	15

諸 会 議	-----	16
--------------	-------	----

人 事

○新任教授紹介	-----	18
○人事異動	-----	18

主要日誌	-----	23
-------------	-------	----

学内規則	-----	24
-------------	-------	----

平成25年度弘前大学学位記授与式

3月20日(木)、平成25年度「弘前大学学位記授与式」及び「弘前大学大学院学位記授与式」が来賓、関係者出席の下、厳かに行われました。

「弘前大学学位記授与式」は第1部、第2部の二部制で行われ、第1部(人文学部、教育学部)が11時から、第2部(医学部、理工学部、農学生命科学部)が13時30分から執り行われました。

始めに、佐藤学長から学位記が各学部のそれぞれの代表の学生に授与されたのに続き、学長による告辞、そして卒業生が答辞を述べ、式典を終えました。

式典終了後は、記念写真に収まるグループや後輩達から胴上げの祝福を受けるグループなど、弘前市民会館は祝福ムードでいっぱいとなりました。

また、大学院学位記授与式は同日9時から創立50周年記念会館 みちのくホールにて、教育学部附属学校園の卒業式は、小学校が3月16日(日)、中学校が3月8日(土)、特別支援学校が3月11日(火)、幼稚園が3月19日(水)に各学校園においてそれぞれ執り行われました。

○弘前大学

学士学位記

人文学部	329名
教育学部	230名
医学部医学科	110名
医学部保健学科	202名
理工学部	288名
農学生命科学部	179名
計	1,338名

○弘前大学大学院

修士又は博士前期学位記

人文社会科学研究科(修士)	11名
教育学研究科(修士)	28名
保健学研究科(博士前期)	20名
理工学研究科(博士前期)	81名
農学生命科学研究科(修士)	38名

博士又は博士後期学位記

医学研究科(博士)	48名
保健学研究科(博士後期)	13名
理工学研究科(博士後期)	4名
地域社会研究科(博士後期)	3名

論文博士

医学研究科	2名
地域社会研究科	1名
計	246名

○附属学校園

小学校	104名
中学校	188名
特別支援学校	17名
幼稚園	29名
計	338名

平成25年度弘前大学学位記授与式

告 辞

弘前大学長 佐藤 敬



本日ここ弘前市民会館において、多くのご来賓とご家族のご臨席の下、平成二十五年度の学位記授与式を挙げるにあたって、一言告辞を述べさせていただくことは私にとって大きな喜びとするところです。

月日の経つのは早いもので、皆さんの学生生活がいよいよ終わろうとしています。皆さんの中には

引き続き大学院に進学される人も居るでしょうが、ここで一旦、学生生活を総括し、新たな決意で次の勉学に臨むことも大切だと思います。いずれにしても、「歲月人を待たず」という言葉にもあるとおり、誰でも過ぎた日々に関して幾ばくかの反省や後悔を感じるものなのかもしれません。皆さんが今、自分自身の学生生活をどう受け止めているかは、それぞれかと思いますが、間違いなく、皆さんの学生生活は楽しく有意義なものであったと私は信じています。それは、弘前大学の運営にあたる者としての自画自賛の言葉としてではなく、大学を中心に、さまざまな事柄に取り組むことによって、学び成長してきた皆さんを称える言葉として述べています。

その意味で、今日卒業の時を迎えられた皆さんに、心からお祝いを申し上げたいと思います。皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんが、弘前大学生として学んだことへの誇りを胸に卒業され、そして今後の社会で存分に活躍する決意を新たに下さるようお願いして止みません。

ところで、昨年の学位記授与式は弘前市民会館が改修中であったため、弘前大学体育館で行いましたが、今年はまた新装なったこの市民会館を会場にさせていただきます。毎年市民会館を会場に盛大な学位記授与式を挙げることにに関して、弘前市長さんをはじめ、関係の皆様にご感謝申し上げます。これに限らず、弘前大学における教育研究活動や学生生活に対しては、地域からの大きなご支援をいただいています。卒業される皆さんには、これまで直接、間接に支援して下さった地域の方々への感謝を是非忘れないでいただきたいと思っています。

さて、大学の役割は、さまざまな教育研究活動を通して、最終的には社会の発展に寄与することとされており、弘前大学の学生・教職員もそのことを十分理解していただいていると思います。社会から大学に対しては、イノベーションを推進する人材の育成が求められています。私たちが目指すべきイノベーションの本態は、学問の成果を社会に役立てること全体を意味しているものと考えられます。イノベーションを達成するためには、確固たる学問の裏付けが無くてはなりません。大学における学問がそのすべてに直接応えるものではないとしても、皆さんは、これまで学び獲得してきた知識、技術、その他、皆さんの能力の全てを活かして社会の発展に貢献していくことが求められています。それは大きな努力を要する仕事になると予測されますが、その成否にかかわらず挑戦する価値があるのは間違いありません。今後とも是非、社会への貢献を目指して、新たな可能性に積極的にチャレンジする人であり続けて欲しいと思います。

そのためには、引き続き学問を追究する姿勢が必要です。ここで言う学問は、皆さんがこれまで関わってきた学問とは、いささか異なるものになるかもしれません。今後皆さんがどのような世界で活躍するにせよ、新たなことを学び身に付ける姿勢を忘れないでいただきたいと思います。

加えて、引き続き教養を身に付けることも忘れないでいただきたいと思います。弘前大学では「二十一世紀教育」という名の下に教養教育を実施しており、皆さんも受講してきたと思いますが、教養は私たちが一生をかけて身に付けるものであり、さらに言えば、一生をかけても身に付けることなどできないものかもしれません。大学の教養教育は、学ぶための指針の一つであり、大学を卒業した後も、自らの努力を続けることは可能です。教養を身に付けるのはそれを誇示するためではなく、人間としての基本であり、また、皆さんそれぞれの専門的能力を社会で活かすためにも必要です。教養人を目指すことをどこまでも追究して下さい。そして、今後も学び続けることを決して忘れないよう心からの激励を皆さんに送りたいと思います。

終わりに、本日卒業される弘前大学生を今日まで支えて下さった、ご家族の方々や弘前市民の方々をはじめ、多くの方々に私からも感謝を申し上げます。そして、卒業生の皆さんにとっては、弘前大学で学んだ青春の一時期が、他には代え難い良い思い出としていつまでもとどまることを願い、そしてなにより、皆さんの今後のご健勝とご多幸を心からお祈りして、告辞といたします。



平成25年度弘前大学大学院学位記授与式

告 辞

弘前大学長 佐藤 敬



本日ここ弘前大学創立50周年記念会館みちのくホールにおいて、平成二十五年度の大学院学位記授与式を挙げるにあたって、告辞を述べさせていただくことは私にとって大きな喜びとするところであります。

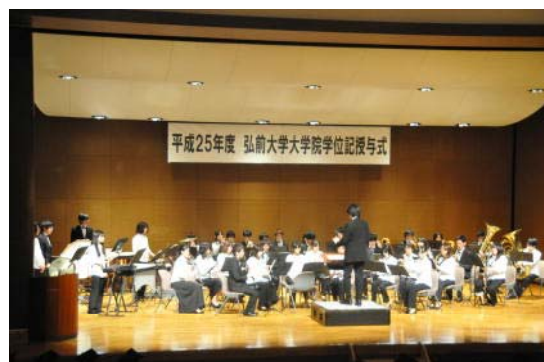
まずもって、本日大学院を修了し、学位を取得された皆さんに心よりお祝いを申し上げます。皆さん、おめでとうございます。今日までの長い間学問を続けて来られた皆さんに心から敬意を表するものですが、一方でそれは、ご家族をはじめ社会の多くの人々の直接・間接の支援があってこそ可能となったことでもあります。そのことへの感謝を今一度思い起こし、そして今後は、大学院で学んだ成果を社会に生かしていく決意を新たにさせていただきたいと思っております。

我が国は先進国の中では、大学院修了者の割合が低いのが現状です。伝統的に大学院はそれぞれの学問の継承を主たる目的にしてきたことが一因だと理解していますが、学問の進歩や大学進学率の向上に伴って、真の高等教育の場は大学院に移行しつつあるのも事実です。国内でも、大学院進学者が学部卒業者の六割を超える大学もあります。その意味で、大学院における人材育成の役割が、狭い意味でのアカデミズムに限定されることなく、社会のさまざまな領域で重要になりつつあります。皆さんが、大学院で学ばれたことを、今後の社会で役立てていくことに対する期待がますます大きくなっています。特に北東北地方の総合大学として、弘前大学が果たすべき大きな役割の一つは、大学院における教育研究であり、皆さんが社会で大いに活躍することをもって、本学の役割も全うされると言えます。どうか、社会のリーダーとして、我が国の明るい未来を実現するために貢献する人になっていただきたいと思います。弘前大学も、そのような役割を明確に認識し、社会と時代の要請に相応しい在り方を目指していかなければならないと考えています。

皆さんの中には、海外からの留学生も居られます。慣れない環境の中での学生生活には困難も多かったことと推察しますが、それによって、皆さんが大いに成長されたという面もあるものと確信します。これまでの皆さんの努力を大いに称えらるとともに、今後の活躍を心より期待しています。

毎年の告辞で述べていることですが、本日皆さんは、修士あるいは博士というグレードを得られ、そのことがグラデュエーション、即ち、卒業式の意味であり、決して学問からの卒業を意味するものではありません。始まりを意味するコメントという単語も卒業式を意味します。正しく、皆さんにとっての学問は本日をもって終わる訳でなく、ここから新たに始まるとの認識を持つことが最も大切です。今後の学問は、あるいは、これまでのものと表面的には異なるかもしれませんが、本質的には同じであり、また、これまでの皆さんの努力が必ず生かされるであろうことは間違いありません。これからも学ぶことを忘れずに歩んでいただきたいと思います。

終わりに、本日大学院を修了される皆さんには、今日まで学問を続けて来られたことを大きな幸福と受け止め、社会に貢献する決意を新たにさせていただきよう、重ねて申し上げます。そしてなにより、皆さんの今後のご健勝とご多幸を心より祈念して告辞といたします。



平成25年度弘前大学学生表彰を実施

本学では、研究活動や社会活動、課外活動で活躍した学生及び学生団体を表彰する学生表彰授与式を、3月3日（月）、事務局3階大会議室で行いました。

今回の受賞者は、課外活動等で活躍した6団体、研究活動や社会活動、課外活動で活躍した学生30名で、表彰式には各研究科長・各学部長、指導教員及びサークル顧問の教員も出席し、佐藤学長から学生1人ひとりに表彰状と記念品が贈呈されました。

佐藤学長から、「大学の一番大切なことは、多様性である。いろんな活動で表彰を受けたということは、学内で様々なことに取り組んでいる学生がいることの象徴である。この表彰を機に益々精進して、周囲全体の底上げに貢献してもらいたい。」と学生の功績を讃える言葉が贈られました。

受賞者を代表して、教育学部生涯教育課程4年の駒目 瞳さんが「今後も大学生としての本分を全うし、自分たちが弘前大学の学生であるという誇りと自覚を持って、それぞれの活動に励んでいきたい」と謝辞を述べました。



佐藤学長(前列右から8人目)と受賞者ら

東日本大震災からの地域復興を考える —弘前大学ボランティアセンター活動報告会・研究報告会—開催

弘前大学ボランティアセンターは、弘前市及び本学人文学部の共催、岩手県野田村の後援で「東日本大震災からの地域復興を考える—弘前大学ボランティアセンター活動報告会・研究報告会（以下、活動・研究報告会）」を3月10日（月）、弘前市民文化交流館ホールで開催しました。活動・研究報告会は2部構成で、第1部、第2部を通して、約100名の弘前市民及び行政関係者、大学関係者が出席しました。

第1部では、科学研究費補助金 基盤研究（A）「北リアスにおけるQOLを重視した災害復興政策研究—社会・経済・法的アプローチ」（JSPS科研費24243056・研究代表者 李永俊）と平成25年度人文学部戦略経費の助成を受けて「先行事例から考える地域復興—各国の災害対応を問い直す」をテーマに、日本、アメリカ、インドネシア、そして、中国での災害復興に関する研究報告会が行われました。

各報告を通して、被災者の生活を優先することの重要性や、復興のスピード、地域活性化のプロセスに焦点を当てることなど、これまでの災害復興研究を土台とした貴重な知見が提供されました。

第2部では、本学ボランティアセンターの活動報告会が行われ、佐藤学長の開催挨拶の後、葛西弘前市長の来賓挨拶、小田祐士岩手県野田村長からのビデオメッセージの上映がありました。

引き続き、中林一樹明治大学特任教授を講師に迎え、「災害復興を再考する」をテーマに基調講演が行われました。また、岩手県野田村にて「チーム北リアス」メンバーとして復興支援・交流活動を行っている河村信治八戸工業高等専門学校教授から、野田村活動報告として、同村で実施したシャレットワークショップの事例紹介と、弘前大学ボランティアセンターを通して同村に復興支援・交流活動で定期的に出向いている本学学生と弘前市民から「チーム・オール弘前」の平成25年度の活動報告及び支援・交流活動を紹介する映像の上映がありました。

なお、「チーム・オール弘前」による野田村復興支援・交流活動は平成26年度も引き続き継続していく予定です。



米国デラウェア大学 ジョアン・ニグ氏の報告



学生による活動報告

「弘前大学高大連携公開講座修了証書授与式」を実施

本学では、3月14日（金）、平成25年度後期「高大連携公開講座修了証書授与式」を創立50周年記念会館会議室で実施しました。

今回の授与者は、青森県立弘前中央高等学校から4名、弘前学院聖愛高等学校から1名、東奥義塾高等学校から2名の計7名、授与式には、伊藤理事（教育担当）並びに当該高等学校長等が出席し、伊藤理事から一人ひとりに修了証書が手渡されました。

これを受けて、受講生を代表して青森県立弘前中央高等学校の木浪咲紀さんから挨拶があり、続いて高等学校を代表して弘前中央高等学校三上聡校長から挨拶が述べられ、授与式は終了しました。

授与式終了後には、伊藤理事と受講生との懇談が行われ、受講者からは高等学校の授業と大学の講義との違いについて感想が述べられるなど、終始和やかな雰囲気での懇談となりました。



伊藤理事から修了証書を授与される受講生



伊藤理事（前列左から5人目）と受講生

文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業 地域再生人材創出拠点の形成 「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」平成25年度修了式

本学では3月14日（金）、平成25年度文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業 地域再生人材創出拠点の形成プログラム「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」の修了式を弘前市のホテルニューキャッスルで行いました。

平成22年度に文部科学省の事業に採択されスタートした同育成計画では、原子力施設などが立地する青森県の被ばく医療を担う人材育成に取り組んできました。今回修了の第2期生3名は、東日本大震災直後から3年間にわたり、科学・医科学コースに分かれ、被ばく放射線化学や放射線計測演習などの科目を履修し、アメリカ・韓国の被ばく医療専門機関での研修を受講し、韓国済州島では核テロを想定した訓練に取り組みました。

修了式で佐藤学長は、「地域緊急被ばく医療への備えを通して、県民の安全・安心の確保に貢献し、地域の発展への大きな力になることを願う」と式辞を述べました。また、三村青森県知事（山中青森県医師確保対策監 代読）の挨拶、（独）放射線医学総合研究所 明石理事の祝辞に続き、修了生を代表し、日本原燃（株）再処理事業部放射線管理部勤務 福井芳則さんから、「被ばく医療の重要性は震災を経てさらに高まっています。2期生としてはこれで修了となりますが、ここからが本当の始まりだと思っています」との決意が述べられました。

修了式に引き続き、修了生・授業担当者・事業関係者を交えた情報交換会が開催され、活発な意見・情報交換が行われました。



修了式にて式辞を述べる 佐藤弘前大学長



修了生代表福井さんによる挨拶



修了式列席者による記念撮影

米国ウッズホール海洋研究所 ケン・ブエッセラー博士 特別講演会を開催

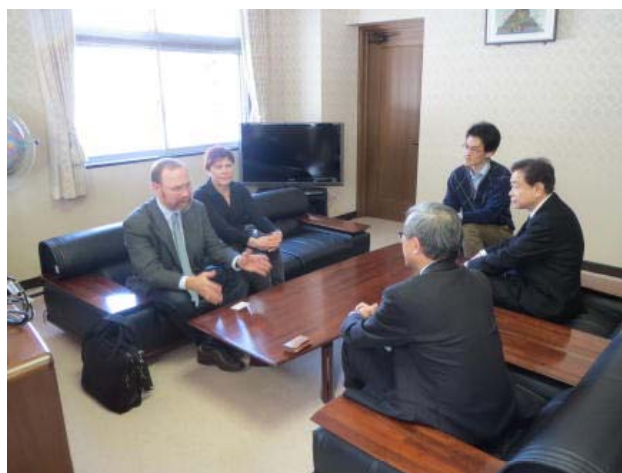
本学では、3月18日（火）、日本学術振興会短期S外国人招へい研究者（ノーベル賞級の国際的な賞の受賞者など、特段に優れた業績をもち、当該分野で現在も指導的立場にある外国人研究者）として来日中の米国ウッズホール海洋研究所海洋環境放射能センター長 ケン・ブエッセラー博士を講師に迎え、本学医学部コミュニケーションセンターにて特別講演会を開催しました。

「福島第一発電所事故により放出された放射性物質の海洋への影響」をテーマとした英語での特別講演会には、本学学生・教職員、一般市民等併せて約50名が参加しました。講演の中でブエッセラー博士は、福島原発事故直後から行っている日本との国際共同研究チームによる福島沖での海洋調査について、放射性セシウムは河川と原子力発電所の放射性物質の漏洩により供給されているので沿岸の堆積物は数十年汚染されたままとなるかもしれないこと、海流によって運ばれる放射性セシウムは今年中にアメリカの西海岸沖で検出されることが予想されるが健康リスクは低いと考えられること、今後、海洋における放射性セシウムおよび放出された放射性核種の動態に関する更なる研究と適切なモニタリングが多くの問題を明らかにする手助けとなると語りました。

また、翌19日には同伴の夫人と佐藤学長を訪問し、初代の被ばく医療総合研究所長であった佐藤学長に、自身の活動・研究内容と福島沖の現状等を紹介し、親交を深めていました。



特別講演会での
ケン・ブエッセラー博士



佐藤学長との懇談の様子

平成25年度弘前大学と弘前市との連携調査研究委託モデル事業 研究成果発表会を開催

平成25年度本学と弘前市との連携調査研究委託モデル事業研究成果発表会が3月18日（火）、弘前市民文化交流館ホールで開催されました。

本学と弘前市との連携調査研究委託モデル事業は、「弘前大学と弘前市の連携に関する協定（平成18年9月締結）」に基づき、弘前市のまちづくりや地域の活性化に関する各種テーマに係る調査研究を事業委託という形で行うもので、研究成果発表会は、その調査研究の成果等を広く市民に還元するため昨年度に引き続き開催され、今回は市民、学生、行政関係者合わせて約70名が参加しました。

研究成果発表会では、弘前市 蛭名正樹副市長による挨拶の後、5つの調査研究についての発表が行われました。質疑応答では、市民から「調査研究の成果を今後の行政に役立ててほしい」、「事業をきっかけに弘前大学と弘前市との連携強化が進むことを望む」等、今後の発展を期待する声が多く挙がりました。



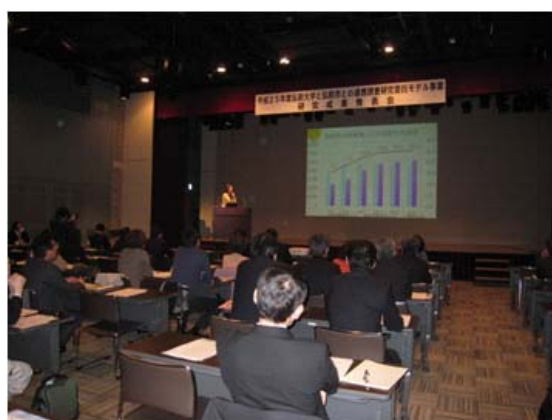
蛭名弘前市副市長による挨拶



山田社会連携課長による来賓挨拶



平井准教授による発表



会場の様子

弘前大学永年勤続者表彰 ～永年の功績を称える～

平成26年3月31日をもって退職される方々及び在職者に対する弘前大学永年勤続者表彰式が、3月19日（水）創立50周年記念会館みちのくホールにおいて、理事・部局長等の列席の下に執り行われました。

式典では、佐藤 敬学長から退職表彰者並びに在職（20年）表彰者に対し、永年にわたり職務に精励されたその功績が称えられ、表彰状及び記念品が授与されました。

また、退職表彰者を代表して理工学研究科 倉又 秀一 教授から、在職（20年）表彰者を代表して理工学研究科 伊藤 昭彦 教授から、それぞれ感慨を込めた謝辞が述べられました。

今回、表彰を受けられた方々は次のとおりです。

○退職表彰者 28名（敬称略）

人文学部	村松 恵二， 清水 明， 長谷川成一
教育学部	安藤 房治， 麓 信義， 加藤 陽治， 島 一夫
医学研究科	八木橋操六
保健学研究科	千葉 正司， 一戸とも子， 鈴木 光子
医学部附属病院	日景 正彦， 小田桐昭人， 平野 聖治， 野呂 秀紀， 樋口三枝子 堀内 悦子， 石川千鶴子， 成田 牧子， 尾田川牧子， 久保田睦子 石岡 恵
理工学研究科	倉又 秀一， 佐藤 魂夫， 鶴見 實
農学生命科学部	石黒 誠一， 神田 健策， 佐原 雄二



○在職（20年）表彰者 28名（敬称略）

財 務 部	山田 智子
研究推進部	櫻庭 晋 , 須藤 勝弘
教育学部	長南 幸安
医学研究科	松原 篤 , 横井 克憲
保健学研究科	木立るり子
医学部附属病院	三浦 弘行 , 澁谷 剛一 , 福士 涼子 , 二川原浩子 , 佐々木真紀 長尾麻紀子 , 山田智恵子 , 秋元 伸枝 , 工藤理佳子 , 木村 素子 成田 節子
理工学研究科	伊藤 昭彦 , 佐藤 裕之 , 手塚 泰久 , 遠田 義晴 , 成田 明子
農学生命科学部	張 樹槐 , 千田 峰生 , 赤田 辰治 , 藤崎 浩幸
北日本新エネルギー研究所	古屋 泰文



「ライフイノベーションアワード2013 (AOMORI)」 グランプリ (大賞) 受賞

本学は、プロテオグリカン (PG) に関する研究及び事業化支援への取り組みについて評価され、青森県による「ライフイノベーションアワード2013 (AOMORI)」の大賞及びプロダクト部門賞を受賞することとなり、3月19日 (水)、青森国際ホテル (青森市) で行われた表彰式において、株式会社角弘とともに表彰されました。

「ライフイノベーションアワード2013 (AOMORI)」は、青森県のライフ分野 (医療・健康・福祉 (介護)) 関連分野におけるイノベーションを促進させるため、同分野で新事業・新産業創出に貢献する等具体的な成果をあげているイノベティブ (革新的) かつクリエイティブ (独創的)、チャレンジング (挑戦的) な取り組みについて、その主体である個人・組織等を対象に「次世代イノベーター人財」として表彰するため、平成25年度に青森県が新設しました。

表彰式当日は、本学からは代表として、「プロテオグリカン関連バイオマテリアルをコアとした津軽圏ヘルス&ビューティー産業クラスターの形成・拡大」事業の中根研究統括が登壇し、青森県の三村知事から、表彰状と記念品のトロフィーが授与されました。

表彰に続いて、各受賞者からのショートスピーチが行われ、中根研究統括からは、研究において、PG産業化におけるブレークスルーとなった大量精製技術の確立において、本学医学部の故・高垣啓一先生の貢献が大きく、その業績を讃えるとともに、これからも高垣先生の遺志を胸に研究を行っていくことや、今までの研究成果から、PGに関して様々なことが解明されてきたことが報告されました。



三村知事より表彰状を授与される中根研究統括



受賞後にショートプレゼンを行う中根研究統括



三村知事と全受賞者との記念写真

学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム 平成25年度弘前市長と加盟大学長との懇談会開催

弘前市内の6大学が加盟している学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム（事務局：本学）では、3月24日（月）に「平成25年度弘前市長と加盟大学長との懇談会」を創立50周年記念会館2階の岩木ホールで開催しました。

この懇談会は、本コンソーシアムの地域における役割や実施事業の方向性などを協議する場として毎年開催されているもので、今回は「弘前市とコンソーシアムの連携強化に向けて」をテーマに、弘前市長と弘前市内6大学の学長等が活発な意見交換を行いました。

その中では、コンソーシアム側を代表して同会長でもある佐藤学長から、今後も弘前市の発展に寄与する事業等の推進を図っていく方針が示されました。また、葛西憲之弘前市長からは、今年度実施された「コンソーシアム共通授業」での自ら講師を務めた感想も交え、弘前市は本コンソーシアムの活動への最大限の協力をする旨の意向が述べられました。

本コンソーシアムでは、来年度以降も弘前市の協力を得ながら、各機関の交流を深めるとともに地域課題解決にも関連する各種事業等を実施予定としています。



挨拶をする佐藤学長（右）と葛西弘前市長（左）



懇談会の様子

北日本新エネルギー研究所とむつ市との間で 連携・協力に関する協定を締結

本学北日本新エネルギー研究所は、むつ市との間で、相互の発展に資するため両者が包括的な連携のもと再生可能エネルギーの資源調査、資源開発、再生可能エネルギー産業の分野において相互に連携・協力する協定を平成26年3月27日に締結しました。

むつ市内で行われた協定書調印式には、むつ市から宮下むつ市長、新谷副市長及び遠島教育長が、本学から佐藤学長、大河原社会連携担当理事・副学長、村岡北日本新エネルギー研究所長が出席して行われ、宮下むつ市長と村岡北日本新エネルギー研究所長が協定を締結し、また、先行して進める予定の地熱開発に関する覚書を取り交わしました。

調印にあたって、宮下むつ市長からは、「むつ市が有するポテンシャルを生かした再生可能エネルギーの資源開発が地域振興につながることを期待しており、先行して地熱開発を協力して進めていきたい。」と、村岡北日本新エネルギー研究所長からは、「今後協力して再生可能エネルギーの開発・促進を進めていくが、まず燧岳の地熱資源開発に協力することで地域の産業育成に貢献したい。」とそれぞれ挨拶がありました。また、佐藤学長からも「本協定の締結は、これまで以上にむつ市及び下北地域との連携協力関係の強化に繋がるものと考えており、大変感謝している。」と挨拶がありました。

これまでも、むつ市及び下北地域とは様々な協力関係を進めてきたが、再生エネルギー開発に関する協力を加え、更なる連携を図っていくことが期待されます。



関係者による記念撮影の様子

■ 諸 会 議

▼役員会

3月3日（月）

審議事項

- 1 学長特別補佐の選考について
- 2 弘前大学 COI 研究推進機構教員の選考について
- 3 大学のガバナンス改革の推進について
- 4 医学研究科附属子どものこころの発達研究センター及び理工学研究科附属医用システム創造フロンティアの設置について
- 5 「弘前大学グローバル化推進戦略会議」の設置について
- 6 特定プロジェクト教育研究センターの設置について
- 7 診療科（救急科）の新設について
- 8 弘前大学被ばく医療総合研究所教員選考規程の制定について
- 9 学内諸規則の一部改正等について
 - (1) 国立大学法人弘前大学職員安全衛生管理規程の一部改正について
- 10 平成26年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について
- 11 新任教員ガイダンスの実施について
- 12 職員の懲戒等について
- 13 東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者の検定料の免除について
- 14 寄附講座の設置について
- 15 国立大学法人弘前大学特別顧問について
- 16 弘前大学苦情処理室室員の推薦について

報告事項

- 1 地（知）の拠点整備事業（大学 COC）事業について
- 2 スーパーグローバルハイスクール（SGH）における高大連携について
- 3 平成26年度の東日本大震災による被災学生への経済的支援について
- 4 平成26年度弘前大学内地研究員選考結果について

3月17日（月）

審議事項

- 1 学内諸規則の一部改正等について
 - (1) 国立大学法人弘前大学管理運営規則（学長の任期）の一部改正について
 - (2) 国立大学法人弘前大学職員就業規則等の一部改正等について
 - (3) 国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について
 - (4) 国立大学法人弘前大学自家用電気工作物保安規程の一部改正について
 - (5) 国立大学法人弘前大学事務組織規程の一部改正について
- 2 平成26年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について
- 3 教員業績評価及び組織評価に係るインセンティブについて
- 4 平成26年度弘前大学当初予算（案）について
- 5 国立大学法人弘前大学年俸制適用職員の号俸決定に係る基本方針について
- 6 年俸制適用職員の号俸決定について
- 7 職員の懲戒等について
- 8 弘前大学大型重点プロジェクトについて
- 9 平成26年度購入予定大型診療機器等について

報告事項

- 1 地（知）の拠点整備事業（大学 COC）事業について
- 2 公立学校の屋内運動場等の天井等落下防止対策加速化のための先導的開発事業について
- 3 平成26年度子育て・介護中の研究者支援事業について

4 その他

(1) 情報セキュリティ対策について

▼教育研究評議会

3月11日（火）

審議事項

- 1 大学のガバナンス改革の推進について
- 2 医学研究科附属子どものこころの発達研究センター及び理工学研究科附属医用システム創造フロンティアの設置について
- 3 診療科（救急科）の新設について
- 4 弘前大学被ばく医療総合研究所教員選考規程の制定について
- 5 平成26年度の業務運営に関する計画（年度計画）（案）について
- 6 東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者の検定料の免除について
- 7 寄附講座の設置について
- 8 弘前大学苦情処理室室員の推薦について

報告事項

- 1 教員の採用等について
- 2 特定プロジェクト教育研究センターの設置について
- 3 「弘前大学グローバル化推進戦略会議」の設置について
- 4 平成26年度新任教員ガイダンスの実施について
- 5 平成26年度弘前大学内地研究員選考結果について
- 6 弘前大学学術情報リポジトリの世界・国内ランキングについて
- 7 弘前大学出版会設立10周年記念事業について
- 8 人文学部における寄附講義の開設について
- 9 委員会等報告
 - (1) 教育委員会
 - (2) 入学試験委員会
 - (3) 21世紀教育センター運営委員会
- 10 その他
 - (1) 情報セキュリティ対策について

▼経営協議会・教育研究評議会合同会議

3月18日（火）

審議事項

- 1 平成25年度の総括及び今後の課題等について
- 2 各理事からの抱負について

▼研究委員会

3月31日（月）

審議事項

- 1 平成26年度研究委員会各種委員等の選出について
- 2 第7回テーマ募集事業「科学者発見プロジェクト」実施要項（案）について
- 3 大学発ベンチャーの認定及び認定延長について

報告事項

- 1 平成26年度弘前大学内地研究員選考結果について
 - 2 地域共同研究センター運営委員会の報告について
-

新任教授紹介

【平成26年3月1日発令】



食料科学研究所
ナカイ ユウジ
中井 雄治
採用

人事異動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年3月1日		中井 雄治	教授(食料)
平成26年3月1日		戸田 綾子	看護師(病院・看護)

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年3月1日	助教(理工)	鷺坂 将伸	准教授(理工)

[命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年3月1日	教授(教育)	中野 博之	教育学部副学部長

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年3月3日	看護師(病院・看護)	橋本 美亜	育休開始 [26.03.31まで]
平成26年3月10日	看護師(病院・看護)	佐々木 幸恵	育休開始 [27.03.31まで]
平成26年3月21日	看護師(病院・看護)	松木 結花	育休開始 [27.03.31まで]
平成26年3月30日	一般職員(病院・総務)	丸山 ひかり	育休開始 [26.06.30まで]
平成26年3月31日	教諭(教育・附中)	森谷 みどり	職務復帰

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年3月2日	准教授(教育)	加 来 浩	死亡
平成26年3月30日	教諭(教育・附中)	笹 綾 伽	任期満了
平成26年3月31日	理事	江 羅 茂	辞任
平成26年3月31日	課長補佐(病院・医事)	日 景 正 彦	定年退職
平成26年3月31日	経理調達グループ係長(病院・経調)	小 田 桐 昭 人	定年退職
平成26年3月31日	教授(人文)	長 谷 川 成 一	定年退職
平成26年3月31日	教授(人文)	村 松 惠 二	定年退職
平成26年3月31日	教授(人文)	清 水 明	定年退職
平成26年3月31日	教授(教育)	加 藤 陽 治	定年退職
平成26年3月31日	教授(教育)	麓 信 義	定年退職
平成26年3月31日	教授(教育)	安 藤 房 治	定年退職
平成26年3月31日	教授(教育)	大 谷 良 光	定年退職
平成26年3月31日	教授(医)	八 木 橋 操 六	定年退職
平成26年3月31日	教授(保)	千 葉 正 司	定年退職
平成26年3月31日	教授(保)	松 本 光 比 古	定年退職
平成26年3月31日	教授(理工)	鶴 見 實	定年退職
平成26年3月31日	教授(理工)	倉 又 秀 一	定年退職
平成26年3月31日	教授(理工)	佐 藤 魂 夫	定年退職
平成26年3月31日	教授(農生)	神 田 健 策	定年退職
平成26年3月31日	教授(農生)	石 黒 誠 一	定年退職
平成26年3月31日	教授(農生)	菊 池 英 明	定年退職
平成26年3月31日	教授(農生)	佐 原 雄 二	定年退職
平成26年3月31日	教授(地域)	檜 楨 貢	定年退職
平成26年3月31日	准教授(教育)	島 一 夫	定年退職
平成26年3月31日	講師(保)	鈴 木 光 子	定年退職
平成26年3月31日	管理栄養士長(病院・栄養管理部)	平 野 聖 治	定年退職
平成26年3月31日	薬剤主任(病院・薬剤部)	野 呂 秀 紀	定年退職
平成26年3月31日	看護師長(病院・看護)	堀 内 悦 子	定年退職
平成26年3月31日	看護師長(病院・看護)	樋 口 三 枝 子	定年退職
平成26年3月31日	看護師長(病院・看護)	成 田 牧 子	定年退職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	尾 田 川 牧 子	定年退職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	久 保 田 睦 子	定年退職

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年3月31日	講師(医)	花畑 憲洋	任期満了退職
平成26年3月31日	教諭(教育・附小)	齋藤 美奈子	任期満了退職
平成26年3月31日	教諭(教育・附中)	尾張 至伸	任期満了退職
平成26年3月31日	教諭(教育・附特)	山中 佐智子	任期満了退職
平成26年3月31日	総務部長	中村 幸人	辞職
平成26年3月31日	財務部長	須藤 守	辞職
平成26年3月31日	人事課長(総務・人事)	池田 徹	辞職
平成26年3月31日	就職支援室長(学務・就)	長尾 久好	辞職
平成26年3月31日	施設企画課長(施設・施企)	武田 裕二	辞職
平成26年3月31日	環境安全課長(施設・環安)	菅野 俊彦	辞職
平成26年3月31日	経営企画課長(病院・経企)	佐野 進	辞職
平成26年3月31日	経理調達課長(病院・経調)	深田 浩一	辞職
平成26年3月31日	教授(人文)	嶋 恵一	辞職
平成26年3月31日	教授(人文)	柑本 英雄	辞職
平成26年3月31日	教授(教育)	西澤 道知	辞職
平成26年3月31日	教授(保)	一戸 とも子	辞職
平成26年3月31日	准教授(人文)	飯 考行	辞職
平成26年3月31日	准教授(人文)	金藤 正直	辞職
平成26年3月31日	准教授(教育)	植田 勇人	辞職
平成26年3月31日	准教授(教育)	石出 和也	辞職
平成26年3月31日	准教授(医)	和田 龍一	辞職
平成26年3月31日	准教授(保)	古川 照美	辞職
平成26年3月31日	准教授(病院)	福井 康三	辞職
平成26年3月31日	講師(医)	中野 高広	辞職
平成26年3月31日	講師(病院)	小野 睦	辞職
平成26年3月31日	講師(病院)	菅原 典夫	辞職
平成26年3月31日	講師(病院)	佐藤 寿	辞職
平成26年3月31日	助教(医)	花田 直之	辞職
平成26年3月31日	助教(医)	平賀 康晴	辞職
平成26年3月31日	助教(医)	竹内 侯雄	辞職
平成26年3月31日	助教(医)	掛端 伸也	辞職
平成26年3月31日	助教(医)	中井 希紫子	辞職
平成26年3月31日	助教(医)	立田 哲也	辞職

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年3月31日	助教(保)	西村 美八	辞職
平成26年3月31日	助教(保)	安杖 優子	辞職
平成26年3月31日	助教(保)	小山内 暢	辞職
平成26年3月31日	助教(病院)	平賀 典子	辞職
平成26年3月31日	助教(病院)	山下 真紀	辞職
平成26年3月31日	助教(病院)	長谷部 達也	辞職
平成26年3月31日	助教(病院)	湯川 昌広	辞職
平成26年3月31日	助教(病院)	是川 あゆ美	辞職
平成26年3月31日	助教(農生)	鳥丸 猛	辞職
平成26年3月31日	助教(被ばく)	中田 章史	辞職
平成26年3月31日	助手(医)	大久保 礼由	辞職
平成26年3月31日	助手(医)	佐々木 全英	辞職
平成26年3月31日	助手(医)	石田 尚	辞職
平成26年3月31日	助手(病院)	白戸 弘志	辞職
平成26年3月31日	助手(病院)	吉澤 佳織	辞職
平成26年3月31日	助手(病院)	一戸 大地	辞職
平成26年3月31日	助手(病院)	船水 文乃	辞職
平成26年3月31日	助手(病院)	西村 雅之	辞職
平成26年3月31日	助手(病院)	北川 陽介	辞職
平成26年3月31日	副校長(教育・附特)	森山 隆	辞職
平成26年3月31日	副園長(教育・附幼)	大里 公子	辞職
平成26年3月31日	教頭(教育・附特)	成田 安男	辞職
平成26年3月31日	教諭(教育・附幼)	前田 恵	辞職
平成26年3月31日	教諭(教育・附小)	豊岡 久美子	辞職
平成26年3月31日	教諭(教育・附小)	高谷 千枝	辞職
平成26年3月31日	教諭(教育・附小)	千葉 嘉基	辞職
平成26年3月31日	教諭(教育・附小)	中川 昌子	辞職
平成26年3月31日	教諭(教育・附中)	工藤 素子	辞職
平成26年3月31日	教諭(教育・附中)	蒔苗 尚文	辞職
平成26年3月31日	教諭(教育・附中)	相馬 隆司	辞職
平成26年3月31日	教諭(教育・附中)	外崎 伸也	辞職
平成26年3月31日	教諭(教育・附特)	長峰 伊公子	辞職
平成26年3月31日	教諭(教育・附特)	奈良岡 孝信	辞職

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成26年3月31日	教諭(教育・附特)	木村 讓	辞職
平成26年3月31日	教諭(教育・附特)	葛西 美紀子	辞職
平成26年3月31日	養護教諭(教育・附小)	前田 洋子	辞職
平成26年3月31日	主任臨床工学技士(病院)	山崎 章生	辞職
平成26年3月31日	メディカルソーシャルワーカー(病院)	駒井 朋子	辞職
平成26年3月31日	看護師長(病院・看護)	堀川 万記子	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	石川 千鶴子	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	鎌田 鐘子	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	河田 朋子	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	木村 由希子	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	七尾 恵	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	村上 さゆり	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	長谷川 晴香	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	福島 智早	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	高松 阿里沙	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	鳴海 絵里奈	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	木村 綾子	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	千葉 美穂	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	寺田 有希奈	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	野崎 望美	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	長谷川 未幸	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	石岡 恵	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	上原 めぐみ	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	齋藤 真人	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	木村 静	辞職
平成26年3月31日	看護師(病院・看護)	青山 真弓	辞職

■ 主要日誌

- 3月3日 役員会
平成25年度弘前大学学生表彰
- 10日 東日本大震災からの地域復興を考えるー弘前大学ボランティアセンターー
活動報告会・研究報告会
- 11日 教育研究評議会
- 14日 弘前大学高大連携公開講座修了証書授与式
文部科学省科学技術戦略推進費 地域再生人材創出拠点の形成
「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」平成25年度修了式
- 17日 役員会
- 18日 経営協議会・教育研究評議会合同会議
米国ウッズホール海洋研究所 ケン・ブエッセラー博士 特別講演会
平成25年度弘前大学と弘前市との連携調査研究委託モデル事業
研究成果発表会
- 19日 弘前大学永年勤続者表彰
「ライフイノベーションアワード2013 (AOMORI)」グランプリ受賞
- 20日 平成25年度弘前大学学位記授与式
平成25年度弘前大学大学院学位記授与式
- 24日 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム
平成25年度弘前市長と加盟大学長との懇談会
- 27日 北日本新エネルギー研究所とむつ市との間で連携・協力に関する協定を締結
- 31日 研究委員会

学内規則

(平成26年3月3日一部改正)

○弘前大学保育園規程

保育園の待機園児の解消のため、保育園の定員を増員するとともに、保育料等に消費税を含むことを明確にするため、上記の規程の一部を改正した。

(平成26年3月5日一部改正)

○国立大学法人弘前大学職員安全衛生管理規程

衛生管理者について、文京町地区及び本町地区並びに部局間の均衡を図る観点から、配置の見直しを行うことに伴い、上記の規程の一部を改正した。

(平成26年3月14日一部改正)

○国立大学法人弘前大学管理運営規程

附属教育研究施設として、医学研究科附属子どものこころの発達研究センター及び理工学研究科附属医用システム創造フロンティアを設置することに伴い、上記の規則の一部を改正した。

(平成26年3月14日制定)

○弘前大学被ばく医療総合研究所教員選考規程

被ばく医療総合研究所の教員の選考に関し必要な事項を定めるため、上記の規程を制定した。

(平成26年3月14日一部改正)

○弘前大学医学部附属病院規程

特定機能病院及び地域医療支援病院のあり方に関する検討会における「特定機能病院及び地域医療支援病院の承認要件の見直しについて(中間とりまとめ)」を踏まえて厚生労働省令により平成26年4月1日付けで医療法施行規則が改正されることに伴い、高度救命救急センターの管理責任科として救急科を設置し、病院の診療体制を強化するため、上記の規程の一部を改正した。

(平成26年3月24日一部改正)

○国立大学法人弘前大学管理運営規程

平成25年5月の教育再生実行会議第三次提言「これからの大学教育等の在り方について」、中央教育審議会における大学のガバナンス改革の推進についての審議の状況を踏まえ、学長及び理事を補佐する体制を強化するため、上記の規則の一部を改正した。

(平成26年3月24日制定)

○国立大学法人弘前大学副学長に関する規定

○国立大学法人弘前大学副理事に関する規程

○国立大学法人弘前大学学長室設置規程

平成25年5月の教育再生実行会議第三次提言「これからの大学教育等の在り方について」、中央教育審議会における大学のガバナンス改革の推進についての審議の状況を踏まえ、学長及び理事を補佐する体制を強化するため、上記の規程を制定した。

(平成26年3月24日一部改正)

- 国立大学法人弘前大学事務組織規程
- 弘前大学サテライト規程
- 国立大学法人弘前大学文書処理規程
- 国立大学法人弘前大学職員の区分、種類及び職名に関する細則

以下の理由により、上記の規程の一部を改正した。

- ①学長直属の学長室及び法人内部監査室の事務組織を明確にするため。
- ②研究・イノベーション推進機構の設置に関し必要な事項を定めるため。
- ③東京事務所に関することを社会連携課から研究推進課に所管換えすることに伴い、必要な事項を定めるため。

(平成26年3月24日一部改正)

- 国立大学法人弘前大学自家用電気工作物保安規程

以下の理由により、上記の規程の一部を改正した。

- ①文京町地区に太陽光発電設備(50.5kW)を設置し、平成26年度から正式稼働させることに伴い、必要な事項を定めるため。
- ②受電設備、非常用予備発電装置の容量の変更を行うため。

(平成26年3月24日廃止)

- 弘前大学エネルギー教育推進委員会規程
- 弘前大学エネルギー教育協議会内規

(平成26年3月24日一部改正)

- 国立大学法人弘前大学職員給与規程
- 国立大学法人弘前大学契約職員就業規則

以下の理由により、上記の規程等の一部を改正した。

- ①副学長、学長室長及び副理事並びに経営協議会委員及び教育研究評議会評議員について、本学の運営・経営・教育研究に関する管理や監督する立場として重要な責務を担う職員の職責に鑑み、棒級の特別調整額を支給するため。
- ②医学部附属病院手術部に勤務する看護師等の業務は、一般の病棟等における業務と比較し、医療安全上の精神的緊張及び心労を伴うほか、その業務環境から血液曝露による患者が保有する感染症に遭遇する危険が高いものであることを考慮し「手術看護手当」を創設し、手当を支給するため。
- ③その他字句の修正のため。

(平成26年3月24日一部改正)

- 国立大学法人弘前大学職員就業規則
 - 国立大学法人弘前大学職員給与規程
 - 国立大学法人弘前大学職員任免規程
 - 国立大学法人弘前大学職員退職手当規程
 - 国立大学法人弘前大学職員の初任給、昇格及び昇給等の基準に関する細則
 - 国立大学法人弘前大学通勤手当支給細則
 - 国立大学法人弘前大学期末手当、勤勉手当及び期末特別手当支給細則
 - 国立大学法人弘前大学職員退職手当細則
-

配偶者同行休業を創設した国家公務員に準拠し、本学においても同休業制度を創設するため、また、同休業制度創設に伴い必要な事項を定めるため、上記の規則等の一部を改正した。

(平成26年3月24日制定)

○国立大学法人弘前大学職員の配偶者同行休業に関する規程

○国立大学法人弘前大学職員の配偶者同行休業の実施に関する細則

配偶者休業制度創設に伴い必要な事項を定めるため、上記の規程等を制定した。

(平成26年3月28日一部改正)

○国立大学法人弘前大学文書処理規程

○国立大学法人弘前大学法人文書管理規程

○国立大学法人弘前大学文書管理規程

○国立大学法人弘前大学公益通報処理規程

○国立大学法人弘前大学苦情処理規程

○国立大学法人弘前大学安全保障輸出管理規程

○国立大学法人弘前大学予算管理規程

○国立大学法人弘前大学情報公開取扱規程

○国立大学法人弘前大学保有個人情報管理規程

○国立大学法人弘前大学保有個人情報開示等手続規程

○弘前大学部局情報セキュリティ管理者に関する要項

平成26年4月1日付けで学長室を設置することに伴い必要な事項を定めるため、上記の規程等の一部を改正した。

(平成26年3月31日一部改正)

○弘前大学特定プロジェクト教育研究センター規程

平成26年4月1日に設置するセンターを別表に規定するため、上記の規程の一部を改正した。

弘前大学学報第120号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111